



きれいな花が咲くといいなあ！

益城中央小学校に花の球根の贈り物

11月30日、益城中央小学校(廣瀬誠一郎校長)の1年生73人が、来年度の新1年生を迎えるためにプランターにチューリップとムスカリの球根を植えました。

球根は、花で被災地を明るくする活動を続けている社団法人日本種苗協会から贈られたもので、子どもたちは一つ一つ丁寧に土の中に埋めていました。

作業が終わると、児童を代表して遠藤莉々花さんが「これから大事に愛情を込めて育てます」と指導にあたった同協会熊本支部職員にお礼の言葉を述べました。



プランターに並べた球根に土をかぶせる子どもたち



中央から右へ松尾玉東町・寺本芦北町・田上高森町議会議長

全国の町村から支援の想いが届く

全国町村議議会・議会の見舞金目録を贈呈

11月28日、県町村議会議長会から熊本地震に対する見舞金の目録が町に贈呈されました。

見舞金は、全国927町村の議議会および議会から県町村議会議長会に寄せられたもので、県内の20市町村に配分されています。

西村町長に目録を手渡した県町村議会議長会の松尾純久会長(玉東町)は、「地震の大変さは、当事者でないといわからないこともあるかもしれない。私たちもお役に立ちたい」と述べました。

世界各地の文化が大集結！

各国の出身者たちによるお国自慢

11月27日、阿蘇熊本空港ホテルエミナースで、「第23回熊本国際交流祭典」が開催されました。

例年、熊本市中心街などで行われているこのイベントですが、今回は地震被害の大きい益城町の復興を願い、町内での開催となりました。

当日は、あいにくの空模様にもかかわらず、会場には多くの人々が訪れ、各国のダンスや音楽演奏などを楽しみました。また、体験コーナーとして民族衣装の試着などもあり、大盛況となりました。



バンド演奏によるアパラチアの民謡音楽の披露

Best Smile
今月のベスト笑顔

